

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 3 月 18 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	19.0	106.0 kPa abs	A系： - *2 Vol %
		給水系：約 2.3 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.14 vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 3.5 m <sup>3</sup> /h	33.2	7.44 kPa g	A系： 0.05 Vol %
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.06 vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 3.4 m <sup>3</sup> /h	31.5	0.27 kPa g	A系： 0.16 vol %
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.15 vol %

\* 1: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

\* 2: 作業に伴いデータ欠測

[2号機]・H25/3/10～3/16 原子炉注水設備における給水系の信頼性向上工事に伴う事前確認について、原子炉等の冷却状態に有意な変動のないことを確認できたことから、原子炉注水量変更を行い、給水系の信頼性向上工事を実施予定。

・H25/3/10 14:21 当該工事を実施するため、給水系からの注水量を約 1.9 m<sup>3</sup>/h から 0 m<sup>3</sup>/h、炉心スプレィ系からの注水量を約 3.5 m<sup>3</sup>/h から約 5.5 m<sup>3</sup>/h に変更。

3/15 22:18 上記工事が終了したことから、給水系からの注水量を約 0 m<sup>3</sup>/h から 2.0 m<sup>3</sup>/h、炉心スプレィ系からの注水量を約 5.5 m<sup>3</sup>/h から 3.5 m<sup>3</sup>/h に調整。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.5
2号機	循環冷却システム	停止中	15.5
3号機	循環冷却システム	運転中	13.1
4号機	循環冷却システム	運転中	25

\* : 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘドランジンの注入を適宜実施。

[1号機]・H25/3/19 電源二重化工事に伴い、使用済燃料プール代替冷却系を停止予定。なお、冷却停止時のプール水温度上昇率は、約 0.08 /h で、停止中のプール水温度上昇は、約 0.8 と評価されることから運転上の制限値 65 に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度管理上問題ない。

[2号機]・H25/3/18 6:35 電源二重化工事に伴い、使用済燃料プール代替冷却系を停止(停止時プール水温度: 約 15.0 )。なお、冷却停止時のプール水温度上昇率は、約 0.19 /h で、停止中のプール水温度上昇は、約 2.3 と評価されることから運転上の制限値 65 に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度管理上問題ない。

[3号機]・H25/3/18 3号機使用済燃料プールの構造材の中期的な腐食の進展・破損を抑制するため、H24/4/11 から塩分除去装置の運転を行ってきた結果、使用済燃料プールの塩素濃度が約 1,600ppm(運転開始時点)から約 5ppm に低下したことを確認したことから、同号機における塩分除去を完了。

### < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	3/12 10:22 ~ 3/17 9:32 移送実施
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [ プロセス主建屋 ]	3/15 10:27 ~ 移送実施中

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系\*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。

\*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

### < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/18 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	運転中	停止中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/3/15 7:32 第二セシウム吸着装置の信頼性向上工事等に伴い、第二セシウム吸着装置を停止。なお、同装置の停止に伴い、同日 11:43 にセシウム吸着装置を起動し、12:02 に定常流量に到達。

### < 5. その他 >

・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。

・H24/4/25 ~ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

・H25/1/8 ~ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。

・H25/3/15 ~ 3/17 2号機圧力抑制室への窒素封入ラインの配管・ホース設置。

・H25/3/17 13:51 ~ 14:23 6号機原子炉建屋天井部穴の閉止について、閉止箇所の健全性を確認するため、原子炉建屋の気密性確認を実施し、異常がないことを確認。

・H25/3/19 1号機サプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を停止予定。

・H25/3/19 5号機原子炉建屋天井部については、H23/3/18 に水素爆発の防止を目的として穴を開けているが、現在5号機は冷温停止が維持されていて、プラントの状態も安定していることから、建屋の気密性維持を目的に、3/19 よりその穴を塞ぐ作業を開始。

・H25/3/19 2号機原子炉格納容器の内部調査を実施予定。

以上